

# 学校だより

平成29年度 第7号  
平成29年8月31日(木)



総社市立秦小学校

## 2学期始業式 式辞

おはようございます。とても元気なあいさつができました。昨日まで静かだった秦小学校に、皆さんの笑顔と明るい声、そして元気な姿がもどってきました。

長い夏休み中に大きな事故やけがもなく、2学期の始業式をこうして皆さんと迎えることは、とてもうれしいことです。

42日間の長い夏休みは、毎日を大切に過ごして、楽しい思い出に残る夏休みになりましたか。できた人は手を挙げてください。

ありがとう。たくさんの人の手が挙がりました。皆さんよくがんばりました。今、ここから皆さんを見てみると、約4週間会わなただけなのに、なんだか皆さんの顔つきや体つきが一段とたくましくなったような気がします。皆さんはきっと、暑さに負けず、いろいろなことに挑戦し、がんばっていたからなのだろうと思います。

さて、今日から2学期です。9月の運動会、10月の海の学習、11月の学習発表会など2学期は大きな行事が予定されており、皆さんが新しいことや、難しいことに挑戦する学期でもあります。

ところで、「成功」の反対は何か分かりますか？

サッカー日本女子代表の監督をつとめた佐々木則夫さんは、「成功の反対は、失敗ではなく、挑戦しないことである。」と言いました。

誰も最初から成功するとは限りません。失敗を繰り返しながらも挑戦をし続け、失敗の中から成功のヒントを見つけて、やがて成功をすることができます。運動会や学習発表会もそうではないでしょうか。

「世の中に失敗というものはない。挑戦（チャレンジ）しているうちは失敗はない。あきらめた時が失敗である」と言った人がいます。2学期は自分の可能性を信じ、学級の仲間の力を信じ、いろいろなことに挑戦してみてください。

成功の反対は失敗ではなく、本当の失敗とは「何もしないこと」です。

以上で私の始業式の話が終わります。

新学期

## 県学力・学習状況調査(3~5年生)結果

4月に岡山県学力・学習状況調査が、第3・4・5学年において実施され、その調査結果が届き、個人懇談で保護者の皆様にお渡ししました。今回の調査結果を基に、本校の課題を確認し、今後の学習指導に生かしてまいります。

この岡山県学力・学習状況調査は、今年度から小学校3年生・4年生・5年生、さらに中学校1年生・2年生までの学年で実施されました。

### ◇平均正答率

#### 3年生

	県平均正答率との比較
国語	上回っていた
算数	上回っていた

#### 4年生

	県平均正答率との比較
国語	上回っていた
算数	やや下回っていた

#### 5年生

	県平均正答率との比較
国語	上回っていた
算数	上回っていた



結果から国語、算数ともに基礎的・基本的な内容は、おおむね定着しています。しかし、次のような出題のねらいをもった問題では、正答率が低く課題があります。

#### 《3年生国語》

・与えられた情報を読み取り、正確に伝える説明をすることができる。

#### 《3年生算数》

・与えられた条件を読み取り、立方体の辺の長さや数を考えて問題を解くことができる。

#### 《4年生国語》

・与えられた情報を読み取り、聞き手に具体的な情報を伝える説明をすることができる。

#### 《4年生算数》

・400×7の計算のしかたを説明することができる。

#### 《5年生国語》

・与えられた情報を読み取り、ポスターに補足する文を書くことができる。

#### 《5年生算数》

・割り算の計算を工夫して求めている考えから、使っている計算のきまりが分かる。

## 個に応じた少人数指導

学力状況調査結果からも分かるように、学習内容の定着が児童によって異なるという現状があります。これを克服するためには、「個に応じた指導」が必要です。

そのためには、児童ひとりひとりの能力・適性・興味・関心等を十分に把握し、学習形態、理解や習熟の程度、興味・関心に応じた課題や指導を工夫することが大切です。

そこで、2学期から少人数指導を取り入れたいと考えています。具体的には、3年生と4年生の算数で、定着度に応じた少人数指導を実施します。児童の実態に応じて、定着度や理解の程度、興味・関心によって1つのクラスを2つに分けて、学力の定着と思考力・表現力の育成を図ります。2つに分ける際には、児童にアンケートをとったり、児童が今までに習った学習内容の定着の度合いを確かめたりして、児童が自分でコースを選択します。

《例》

「基礎コース（じっくりコース）」

作業的・体験的な活動をできるだけ多く取り入れ、学習内容をひとつずつ確実に理解しながら、学習を進める。

「発展コース（ぐんぐんコース）」

通常の学習指導とほぼ同じようなペースで学習を進めることを基本とし、学習内容が習得できた時点で、発展的な学習に自分のペースで取り組む。

## 家庭学習の大切さ

今回の県学習状況調査結果をみると、例えば5年生では、学校がある平日の1日の学習時間は、30分くらいがもっとも多く、1時間くらいが2番目に多くなっています。3番目に多いのは、10分くらいです。こうした数字をみると、家庭学習が決して多いとは言えません。

家庭学習は、学習したことをもう一度振り返り、基礎的・基本的な内容を確実に身につけるものです。毎日コツコツと続けていくことが、着実に学力を高めていくことにつながります。

家庭でのポイントには、次のようなものがあります。

### ◇家庭での約束をつくる

・家庭学習の時間      ・テレビやゲームの時間の約束

### ◇学習ができる環境をつくる

・テレビを見ながらしない      ・ゲームをしながらしない  
・食べながらしない      ・保護者の声かけ

### ◇子どものやる気を引き出す

・ほめる、認める、励ます      ・マイナス面ばかり責めない  
・他の子どもと比較しない

学校と家庭が協力して  
学習習慣の確立に努めましょう！